

取付説明書 及び 錠前取扱上の注意事項

本書は必ず御施主様または御入居様で保管して下さい。

当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。
製品を永く安全にご使用頂くために、この取扱上の注意事項を必ずお読み頂き、正しくお取扱い下さい。また、本書はいつでも見られる所に保管して頂きますようお願いいたします。



注意

● 作業中・使用者の傷害防止のために

- ① 扉は取替作業終了まで半開きの状態で固定して下さい。作業中に扉が閉まると入室できなくなる恐れがあります。
- ② 取替作業中は作業員以外が周辺に近づいたり、立ち止まらないように注意して下さい。
- ③ 錠前の受け金具（ストライク）の穴に指を入れしないで下さい。指を切る恐れがあります。
- ④ 錠前のハンドルやデッドボルト、ラッチボルトにぶつからないように気を付けて下さい。当たって怪我をする恐れがあります。
- ⑤ ハンドルやノブ、シリンダーなどにぶら下がったり、足場にしたり、物を引っ掛けたりしないで下さい。危険なばかりか錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ⑥ 指定以外のネジを外したり、錠前及びシリンダーの分解はしないで下さい。中の部品が飛び出して怪我をしたり正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。

● 錠前の損傷防止のために

- ① 鍵穴に油や異物を入れないで下さい。異物が詰まると鍵の操作ができなくなります。鍵の抜き差しや回転操作が悪くなったら、鉛筆（軟らかい芯）の粉や黒鉛粉を鍵穴に入れて下さい。油は注入直後は良くてもホコリを吸着しかえって動きを悪くしますので絶対使用しないで下さい。
- ② シリンダーは時々、やわらかい布で空拭きする程度の掃除をして下さい。シリンダーの表面に汚れ、ホコリなどを付着したまま放置しますと変色、腐食の原因になります。洗浄の際、酸やアルカリ、塩素などの化学薬品等で洗浄しないで下さい。また直接水をかけないで下さい。
- ③ 複製キーをご使用の際はキーのバリ、精度によってはシリンダーの作動に影響をおよぼすことがありますので注意して下さい。

● 盗難、悪用防止のために

- ① 施錠忘れによる盗難が多くありますので、施錠の際は必ず確認して下さい。
- ② 鍵に使用場所が分かる表示を付けないようにして下さい。紛失時に悪用される恐れがあります。
- ③ スペアキーは大切に保管、管理しておいて下さい。

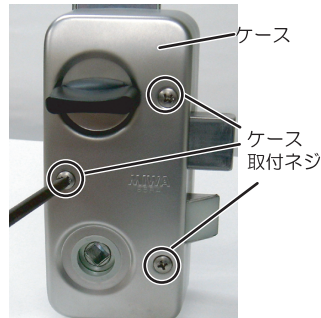
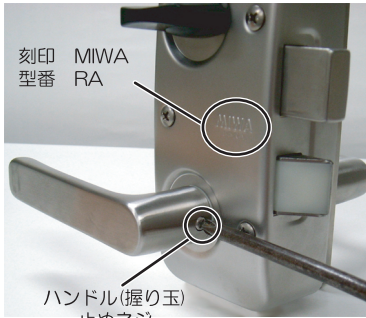
● その他

- ① 取替えが困難になった場合は、取替え作業を中止し、元の状態に戻して、ご購入店までご相談下さい。
- ② 鍵が回らない故障が発生した時には速やかに管理事務所、施工業者にご相談して下さい。
- ③ スペアキーをご注文される際は、ご購入店まで申し付けをお願いします。

取付方法 MIWA（美和ロック） RAタイプ

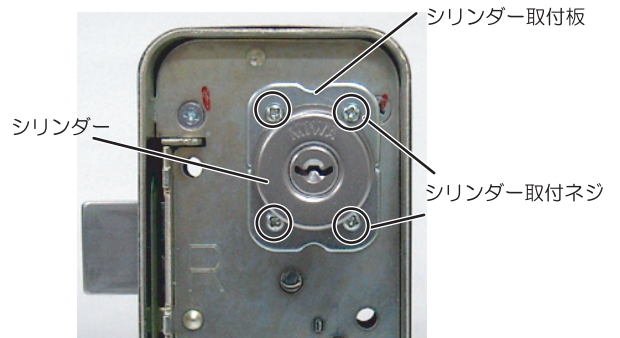
1

- 室内側のハンドル(握り玉)止めネジを緩めハンドル(握り玉)を落下しないようにします。
- 室内側のケースの取付ネジ(3箇所)をはずし、落下ないようにケースを扉からはずします。
- (注意1) 取付作業時は必ず軍手などを着用してください。
- (注意2) 止めネジ、ケース取付ネジ、ナイロンワッシャー(握り玉のみ)は再度取付時に使用しますので失くさないよう注意してください。
- (注意3) 室外側の長座は必ず必要はありません。



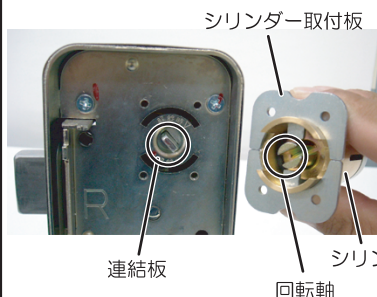
2

- ケース裏側のシリンダー取付ネジ(4箇所)を外し、シリンダーとシリンダー取付板をケースから外します。
- (注意1) シリンダー取付ネジは、強く締付けてありますので、ネジの頭を破壊しないように注意してください。
- (注意2) シリンダー取付ネジ、シリンダー取付板は再使用しません。



3

- 付属のシリンダー取付板(2枚)をシリンダー溝に差し込みます。
- 取替シリンダーの刻印「AGENT」を上にし、連結板の方向に回転軸の切り欠きを合わせます。
- 同梱してありますシリンダー取付ネジ(4本、ワッシャー付)を使用しシリンダーとシリンダー取付板をケースに取付ます。
- シリンダー取付後、施錠錠の作動確認を行ってください。
- キーを差込んで90度、右または左に回転させた時デッドボルトが出入りすれば正常状態です。



4

- 1の手順と逆の方法でケースを扉に取付けます。
- (ケース取付ネジ3箇所)
- 室外、室内のハンドル(握り玉)をケースに差し込み、ハンドル(握り玉)止めネジにて固定してください。

